

プログラム 10月19日(日)

▶ **A** 会場 (岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール)

[ハイブリッド開催]

8:00~8:50 モーニングセミナー 1

座長：天野 正宏(宮崎大名誉教授/古賀総合病院)

- MS1 酒皰における漢方治療の可能性
許 郁江
ほう皮フ科クリニック 岡山県倉敷市

共催：クラシエ薬品株式会社

9:00~11:00 シンポジウム 4 「ウイルスと皮膚疾患の不思議な関係を考える」

オーガナイザー：山本 剛伸(川崎医大)

座長：今福 信一(福岡大)

山本 剛伸(川崎医大)

- SY4-1 DIHS とヘルペスウイルス
山本 剛伸^{1,2}
¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大
- SY4-2 悪性リンパ腫と EB ウイルス：皮膚型 CAEBV を中心にみる病態の多様性
平井 陽至
岡山大
- SY4-3 薬剤により誘発される帯状疱疹
今福 信一
福岡大
- SY4-4 HHV-8 とカポジ肉腫：皮膚に潜むウイルスの謎に迫る
山口 さやか
琉球大
- SY4-5 COVID-19 と皮膚疾患
杉山 聖子
川崎医大

11:10~12:10 教育講演 7

座長：佐藤 淳(佐藤皮膚科)

- EL7 Snap diagnosis 外来診療を楽しむ秘訣
内田 隆文
うちだ皮膚科クリニック 岡山県岡山市

12:20～13:10 ランチョンセミナー 6 「Bio/JAKi Naïve 患者さんへサイバインコという
選択肢」

座長：吉田 雄一(鳥取大)
藤井 一恭(近畿大)

LS6-1 作用メカニズムから考えるアプロシチニブの選択意義

森実 真
岡山大

LS6-2 かゆみ抑制がもたらす、成功体験～寛解導入にアプロシチニブを選択する意義～

谷崎 英昭
関西医大

共催：ファイザー株式会社/ヴィアトリス製薬合同会社

13:20～15:20 シンポジウム 5 「膠原病の疑問に迫る 皮膚科医が知っておきたい膠原病診療」

オーガナイザー：深松 紘子(川崎医大総合医療センター)
座長：守田 吉孝(川崎医大総合医療センター)
中島 喜美子(高知大)

SY5-1 SLE 治療はどう変わったのか？

守田 吉孝
川崎医大総合医療センター内科

SY5-2 全身性強皮症 病態から治療まで

牧野 雄成
熊本大

SY5-3 膠原病・血管炎にともなう皮膚潰瘍 明日から役立つ治療の選択肢—君もエビデンスを超えられるか—

宮城 拓也
琉球大

SY5-4 シェーグレン症候群 多彩な臨床像をどう理解するか？

深松 紘子^{1,2}
¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大

15:20～15:30 閉会式・次期会長挨拶



会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

【ハイブリッド開催】

8:00~8:50 モーニングセミナー 2 「アトピー性皮膚炎における保湿外用薬の治療選択を熟考する」

座長：高橋 健造(琉球大)
秀 道広(広島市立病院機構)

MS2-1 ヘパリン類似物質の作用メカニズムの観点から考える保湿外用薬の使用意義
中島 喜美子
高知大

MS2-2 アトピー性皮膚炎治療における保湿外用薬の適正使用の重要性と選択のポイント
常深 祐一郎
埼玉医大

共催：マルホ株式会社

9:00~10:00 教育講演 8

座長：乾 重樹(心斎橋いぬい皮フ科)

EL8 脱毛症の病態と治療
下村 裕
山口大

10:10~12:10 スポンサーシンポジウム 2 「炎症性皮膚疾患の病態解明に向けた挑戦」

座長：杉田 和成(佐賀大)
下村 裕(山口大)
千貫 祐子(島根大)

SSY2-1 皮膚自然リンパ球による恒常性維持とアレルギー性炎症
小林 哲郎
理化学研究所生命医科学研究センター自然免疫システム研究チーム

SSY2-2 炎症分類から挑む結節性痒疹の謎
宇賀神 つかさ^{1,2}
¹武蔵野赤十字病院、²東京科学大

SSY2-3 好塩基球の役割から挑む慢性蕁麻疹の謎
岸本 泉
関西医大

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

12:20~13:10 ランチョンセミナー 7 「尋常性乾癬外用薬の治療戦略を考える」

座長：宮城 拓也(琉球大)
今福 信一(福岡大)

LS7-1 乾癬外用療法を再考する～ドボベツト[®]フォームの価値は？～

伊藤 宏太郎
伊藤皮膚科 大分県杵築市

LS7-2 ドボベツト[®]フォームを使いこなす

阿部 名美子
東京医大

共催：レオ ファーマ株式会社

13:20~15:20 スポンサーシンポジウム 3 「炎症性皮膚疾患：治療ゴール達成を見据えた治療戦略」

座長：岩田 浩明(岐阜大)
中原 剛士(九州大)

SSY3-1 心理社会的疾病負荷を考慮した乾癬治療戦略

神谷 浩二
自治医大

SSY3-2 化膿性汗腺炎の最新治療戦略～生物学的製剤と外科的アプローチの視点から～

神谷 秀喜
中部国際医療センター

SSY3-3 皮膚科医はアトピー性皮膚炎患者さんの本音を引き出すことはできるのか

田中 暁生
広島大

SSY3-4 アトピー性皮膚炎でかゆみと皮疹を同時に改善させる必要性

福本 毅
京都府立医大

共催：アッヴィ合同会社

▶ **C** 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール 西）
[ハイブリッド開催]

8:00~8:50 モーニングセミナー 3 「乾癬治療の最新動向と未来展望」

座長：内海 大介(琉球大)
奥山 隆平(信州大)

MS3-1 IL-17A/F 阻害剤の到達できた治療ゴールと目指すべき治療ゴールについて

山崎 文和
東海大

MS3-2 F 阻害を意識した 17 系統のプライオリティ
馬屋原 孝恒
川崎医大

共催：ユーシービージャパン株式会社

9:00~10:00 病理カンファレンス 1

座長：井上 卓也(佐賀大)
宮下 梓(熊本大)

- 病理 1 頭頂部に基底細胞癌と外毛根鞘癌が共存した 1 例
篠澤 絵里菜¹、福井 伶奈¹、梅本 尚可¹、江藤 洋子²、大城 久³、前川 武雄¹
¹自治医大さいたま医療センター、²彩の国東大宮メディカルセンター、³自治医大さいたま医療センター病理診断科
- 病理 2 表在性色素性腫瘍として出現した男性乳癌の 1 例：乳頭部腫瘍診断における深部評価および免疫組織学的評価の重要性
西依 諒¹、梅木 真由子¹、多田 瑞穂¹、内匠 陽平²、小副川 敦²、古川 理子³、小山 雄三³、酒井 貴史¹、波多野 豊¹
¹大分大、²大分大呼吸器・乳腺外科、³大分大病理診断科
- 病理 3 化膿性汗腺炎に続発した、腺上皮成分を部分的に伴う有棘細胞癌の 1 例
陳 鵬飛¹、田中 了¹、佐貫 史明²、西村 広健²、塩見 達志²、青山 裕美¹
¹川崎医大、²川崎医大病理学
- 病理 4 短期間で急速増大した外陰部腫瘍
松野 芽衣¹、塩見 達志¹、鈴木 良典²、戎谷 昭吾²
¹川崎医大病理学、²川崎医大形成外科
- 病理 5 頭部・躯幹・四肢の潰瘍性結節を呈した EBV-positive mucocutaneous ulcer の 1 例
竹内 倫代、加来 洋、森田 寛之、武藤 一考、石井 文人、名嘉真 武國
久留米大
- 病理 6 非瘢痕性脱毛で発症した皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫
西 純平¹、井上 卓也¹、加藤 省一²、杉田 和成¹
¹佐賀大、²佐賀大病因病態科学講座診断病理学

10:00~11:00 病理カンファレンス 2

座長：古賀 佳織(福岡大)
一木 稔生(九州大)

- 病理 7 7 年間の経過を観察しえた多発性皮膚 B 細胞性偽リンパ腫の 1 例
別所 史健、松尾 有華、上角 祐人、佐藤 佳代、木村 優香、片岡 葉子
大阪はびきの医療センター
- 病理 8 左上腕皮下腫瘍を呈し腫瘍上に痒疹が多発した木村病の 1 例
岡崎 桃子¹、善家 由香理¹、久原 章弘¹、三井 純雪¹、新井 達¹、小山田 亮佑²
¹聖路加国際病院、²聖路加国際病院血液内科

病理 9 Adalimumab-Induced Folliculitis-Like Lichenoid Sarcoidosis の 1 例金城 賢吾^{1,2}、高橋 岳浩²、浅野 善英²、藤井 博司³¹石巻赤十字病院、²東北大、³東北大病院リウマチ膠原病内科**病理 10 顔面頭部病変が血管肉腫の合併が疑われる TIF1- γ 陽性皮膚筋炎**湯原 瑞希¹、吉田 貴弘¹、三原 崇¹、太田 征孝²、辻野 佳雄³、長崎 真琴⁴、大沼 秀行⁴、
荒木 亜寿香⁵、新野 大介⁵、森山 繭子⁶、山崎 修¹¹島根大、²おおた皮膚科クリニック 島根県出雲市、³島根県立中央病院、⁴島根県立中央病院病理
診断科、⁵島根大病理診断科、⁶島根大膠原病内科**病理 11 カルシフィラキシスとの鑑別を要したワーファリン誘発性血管炎の 1 例**高野 正暉¹、吉村 由紀²、土山 芳徳³、高野 浩章¹¹高知医療センター、²高知医療センター循環器内科、³高知医療センター腎臓・膠原病内科**病理 12 結節性紅斑との鑑別を要した結節性多発動脈炎の 1 例**

上妻 美緒、佐々木 奈津子、中根 理沙、澤田 雄宇

産業医大

11:10~12:10 教育講演 9

座長：森谷 卓也(川崎医大)

EL9 病理診断の力を劇的に上げる勉強法を教えます！

泉 美貴

昭和医大医学教育

12:20~13:10 ランチョンセミナー 8 「遺伝性血管性浮腫 (HAE) 診断・治療の最前線」

座長：鶴田 紀子(福岡大)

名嘉真 武國(久留米大)

LS8-1 皮膚科医が果たす遺伝性血管性浮腫 (HAE) の早期診断と QOL 向上への役割

田中 暁生

広島大

LS8-2 疾病負荷の顕在化による HAE 診療の質向上を目指して

竹中 基

長崎大

共催：武田薬品工業株式会社

13:20~14:20 教育講演 10 「美容皮膚科のプロフェッショナリズム：専門医の確かな知識と技術が患者を守る」

座長：辻 和英(西川原皮膚科)

EL10-1 皮膚科専門医の確かな知識が患者と美容皮膚科を守る

皮膚科専門医 小林 美和

こばやし皮膚科クリニック 福岡県北九州市

EL10-2 形成外科医が行っている低侵襲美容治療～地方のクリニックの場合～

形成外科専門医 田中 伸吾

たなかクリニック 広島県福山市



会場（岡山県医師会館 2F 三木記念ホール）

【現地開催】

9:00～11:00 シンポジウム 6 「バイオ・JAK の使い分け」

オーガナイザー：馬屋原 孝恒(川崎医大)

座長：福島 聡(熊本大)

眞部 恵子(高松赤十字病院)

1. アトピー性皮膚炎（JAK 阻害薬 vs バイオ）

SY6-1 アトピー性皮膚炎全身療法で JAK 阻害薬が奏でる世界

武岡 伸太郎、石川 絵美子、横井 郁美、大林 愛

武岡皮膚科クリニック 香川県丸亀市

SY6-2 アトピー性皮膚炎（AD）に対する開業医の視点での全身療法の使い分け～Biologics の立場から～

柳瀬 哲至

紙屋町やなせ皮膚科クリニック 広島県広島市

2. 乾癬（IL-17 vs IL-23）

座長：澤田 雄宇(産業医大)

林 宏明(はやし皮膚科クリニック)

SY6-3 IL-17 系

馬屋原 孝恒

川崎医大

SY6-4 推しの抗 IL-23 抗体

宮城 拓也

琉球大

11:10～12:10 共通講習 2 【医療倫理】

座長：森実 真(岡山大)

共通 2 医学研究者に求められる研究倫理～グレーゾーンの研究不正とどう向き合うか～

向井 知之

川崎医大免疫学

13:20～14:20 共通講習 3 【感染対策】

座長：緒方 大(国立がん研究センター中央病院)

共通 3 免疫抑制状態における感染症診療

大石 智洋

川崎医大臨床感染症学

14:20～15:20 一般演題 10 「感染症 1」

座長：竹中 基(長崎大)

牧野 公治(熊本医療センター)

68 梅毒の 5 例

梁 佳余、東田 理恵、中川 浩一

富田林病院

- 69 骨髄異形成症候群を背景に再発を繰り返した PVL 非産生 MRSA 皮膚感染症の 1 例
稲垣 充亮、杉山 聖子、山本 剛伸、青山 裕美
川崎医大
- 70 臀部化膿性汗腺炎に骨盤内および両側腸腰筋膿瘍を合併した 1 例
名桐 研人¹、渡邊 遥¹、松尾 佳美¹、菅 崇暢¹、坪井 雅敬²、大本 卓司³、大森 慶太郎³、
帖佐 啓吾⁴
¹広島大、²東広島医療センター、³広島大感染症科、⁴広島大放射線診断科
- 71 唾石を契機に発症したと考えられた頸部から胸背部にかけての壊死性軟部組織感染症の 1 例
樋口 桃子¹、加納 慎二¹、吉満 真紀¹、中村 元樹¹、加藤 裕史¹、蓑原 潔²、森田 明理¹
¹名古屋市立大、²名古屋市立大耳鼻科
- 72 肝移植患者に生じた ESBL 産生大腸菌による両下腿壊死性筋膜炎
中 奈津実、藤井 一恭、山村 優人、臼居 駿也、中嶋 千紗、大塚 篤司
近畿大
- 73 岡山大学病院皮膚科における壊死性軟部組織感染症 12 例の臨床学的検討
張 劍玲¹、神野 泰輔¹、杉原 悟¹、浦上 仁志^{1,2}、三宅 智子¹、川上 佳夫¹、森実 真¹、
岡原 修司³、萩谷 英大⁴
¹岡山大、²島根大、³岡山大麻酔・蘇生科、⁴岡山大感染症内科
- 74 過去 4 年間に当科で経験した壊死性軟部組織感染症 37 例のまとめ
大塚 正樹、柚木 茉里那、森下 ナオミ、戸倉 新樹
中東遠総合医療センター

▶ E 会場 (岡山コンベンションセンター 3F 301 会議室)

[現地開催]

8:00~8:50 モーニングセミナー 4 「炎症性皮膚疾患における最近の知見」

座長：多田 弥生(帝京大)

- MS4-1 オテズラ再考～掘れば出てくる新たな使い道～
八東 和樹
愛媛大

- MS4-2 掌蹠膿疱症治療における PDE4 阻害薬アプレミラストの使いどころ
小林 里実
聖母病院

共催：アムジェン株式会社

9:00~10:00 一般演題 11 「血管炎・膠原病 1」

座長：白石 研(愛媛大)
新原 寛之(島根大)

- 75 クリオグロブリン血症の 1 例
宇根 ちさと、生玉 梨紗、長谷川 敏男
順天堂大静岡病院

- 76 眼瞼浮腫と顔面四肢の斑状多発紫斑を生じた acute hemorrhagic edema of infancy の 1 例
北垣 舞奈¹、加藤 あずさ¹、光井 聖子¹、高須賀 琴巳¹、横溝 紗佑里¹、目瀬 優衣²、
藤井 洋輔²、後藤 振一郎²、井上 勝²、都地 友紘³
¹岡山赤十字病院、²岡山赤十字病院小児科、³岡山赤十字病院病理診断科
- 77 当科における消化器症状を伴う IgA 血管炎の臨床的検討
瀬涯 章子、中園 美紗子、川平 尚生、山筋 好子、指宿 敦子、江川 形平
鹿児島大
- 78 ワルファリン誘発カルシフィラキシスにより下肢切断に至った 1 例
Hyunjung Park^{1,2}、小池 雄太¹、下農 真弘¹、芦塚 賢美¹、江原 大輔¹、室田 浩之¹
¹長崎大、²佐世保市総合医療センター
- 79 抗血小板薬と血管拡張薬で加療する当科におけるリベド血管症 21 症例の潰瘍形成を指標とする治療成績の評価
人見 勝博、福田 知雄
埼玉医大総合医療センター
- 80 光線過敏症様の皮疹を呈した抗 Mi-2 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例
加畑 雄大¹、西村 健太郎¹、笠松 宏至¹、尾山 徳孝¹、長谷川 稔¹、齋藤 敦子²
¹福井大、²斎藤医院 福井県鯖江市
- 81 特徴的な皮膚・粘膜所見から間質性肺炎を早期診断し得た抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例
三重野 文¹、広瀬 晴奈¹、齋藤 華奈実¹、河野 佳乃子¹、後藤 瑞生¹、首藤 航太²、
児玉 尚吾²、尾崎 貴士²、松本 紘幸³、小山 雄三⁴、駄阿 勉⁴、波多野 豊¹
¹大分大、²大分大内分泌代謝・膠原病・腎臓内科、³大分大呼吸器・感染症内科、⁴大分大診断病理学
- 82 肝逸脱酵素の上昇が先行し診断にいたった全身性エリテマトーデス/シェーグレン症候群の小児例
野々宮 結子¹、大日 輝記¹、近藤 園子²
¹香川大、²香川大小児科

10:00~11:00 一般演題 12 「膠原病 2・ウイルス感染症」

座長：村尾 和俊(徳島大)
三宅 智子(岡山大)

- 83 ヒドロキシクロロキン抵抗性頭部 DLE に対してアニフロルマブが有効であった SLE の 1 例
渡邊 朱音、濱 菜摘、鈴木 紗也佳、内田 梢太、木村 春奈、萩原 里沙、結城 明彦、
藤原 浩、阿部 理一郎
新潟大
- 84 microgeodic disease の 1 例
遠藤 理子¹、近藤 秀治²、宮城 亮³
¹徳島県立中央病院、²徳島県立中央病院小児科、³徳島県立中央病院整形外科

- 85 左頬部の壊死性潰瘍が先行した劇症型抗リン脂質抗体症候群の1例
長尾 僚祐¹、砂川 滉¹、川上 佳夫¹、平井 陽至¹、三宅 智子¹、森実 真¹、内藤 聖子²、
吉富 恵美²、大塚 勇輝³、片山 祐⁴
¹岡山大、²岡山済生会総合病院、³岡山大総合内科、⁴岡山大リウマチ膠原病内科
- 86 寛解維持療法の中断後に再発した小児 mixed morphea の1例
小坂 太一¹、岸部 麻里¹、芝木 光²、藤田 靖幸¹
¹旭川医大、²中根皮膚科医院 北海道旭川市
- 87 抗セントロメア抗体陽性包括的高度慢性虚血症例：吸着型血液浄化器、血管内治療ならび
に多血小板血漿ゲルを用いた症例
永井 美貴¹、福井 ちひろ¹、後藤 祐介¹、小野 昌史²、横田 愛³、細川 貴弘⁴、加藤 崇⁵
¹岐阜県総合医療センター、²岐阜県総合医療センター形成外科、³岐阜県総合医療センター麻酔
科、⁴岐阜県総合医療センター感染症内科、⁵岐阜県総合医療センター循環器内科
- 88 長期の抗レトロウイルス療法により正常 CD4 数を維持するも再発した HIV 関連カポジ
肉腫の1例
太田 真由美、延山 嘉真、朝比奈 昭彦
東京慈恵会医大
- 89 帯状疱疹の経過中に腎盂腎炎を発症し、EDTA 依存性血小板減少症が生じた1例
富永 紗代¹、下宮 大輝¹、徳田 真優¹、大谷 稔男¹、高谷 亮介²、山本 ちひろ³
¹倉敷中央病院、²倉敷中央病院血液内科、³玉島中央病院
- 90-Chair's Insight 四肢の潰瘍・壊死を契機に診断に至った症例から学ぶ、潰瘍病変の診療ストラテジー
三宅 智子¹、川本 雅也²、神野 泰輔¹、浅田 騰³、戸田 洋伸⁴、津下 充⁵、川上 佳夫¹、
森実 真¹
¹岡山大、²鳥取市民病院、³岡山大血液・腫瘍内科、⁴岡山大循環器内科、⁵岡山大小児科

11:10~12:10 一般演題 13 「感染症 2」

座長：笹岡 俊輔(水島中央病院)
内海 大介(琉球大)

- 91 スポーツにまつわる皮膚疾患
賈 成睿¹、和田 康夫²
¹赤穂市民病院初期研修医、²赤穂市民病院
- 92 爪甲に疥癬トンネルを認めた角化型疥癬の1例
Saerom Park、高野 彩、小川 瞭太郎、宮本 樹里亜、石崎 純子、梅垣 知子
東京女子医大足立医療センター
- 93 アムホテリシン B 軟膏の密封包帯法が奏効した爪フサリウム症の1例
牧野 公治¹、浜崎 翔平²、江島 遥³、野口 博光⁴、矢口 貴志⁵
¹熊本医療センター、²熊本医療センター薬剤部、³熊本医療センター臨床検査科、⁴のぐち皮膚科
熊本県上益城郡、⁵千葉大真菌医学研究センター微生物資源分野

- 94 顔面に多発の皮下硬結・膿瘍を来した播種性皮膚 *Mycobacterium chelonae* 感染症の 1 例
橋本 紗和子¹、小畑 秀登²、伊藤 彩³
¹済生会下関総合病院、²済生会下関総合病院呼吸器内科、³ひがしえき菜のはな耳鼻咽喉科 山口県下関市
- 95 質量分析法で *Mycobacterium marinum* を検出したが、PCR 検査でブルーリ潰瘍と診断した親子例
澤田 世来¹、松居 志洋¹、神谷 秀喜¹、北島 康雄¹、杉山 誠治²、松永 研吾²、山田 鉄也²
¹中部国際医療センター、²中部国際医療センター病理診断科
- 96 再発を繰り返し治療に難治した *Mycobacterium abscessus* による皮膚非結核性抗酸菌症の 1 例
井上 円¹、水谷 陽子¹、大西 秀典²、深尾 華子³、宮崎 龍彦⁴、野田 徳朗⁵、岩田 浩明¹
¹岐阜大、²岐阜大小児科、³国立感染症研究所ハンセン病センター、⁴岐阜大病理部、⁵のだ皮膚科クリニック 岐阜県岐阜市
- 97 残存した左肘皮下膿瘍の切除に至った原発性皮膚ノカルジア症の 1 例
濱辺 真奈¹、鋤塚 さやか¹、田崎 典子¹、熊本 万由子²、西條 広人²、児嶋 梓³、室田 浩之¹
¹長崎大、²長崎大形成外科、³長崎大血液内科
- 98 免疫抑制中の患者に生じた左腕皮膚クリプトコッカス症
戸田 裕一、長谷川 あづき、岩下 宣彦、大嶋 雄一郎、渡邊 大輔
愛知医大

12:20~13:10 ランチョンセミナー 9 「アトピー性皮膚炎における長期寛解維持を目指して」

座長：村尾 和俊(徳島大)
沖山 奈緒子(東京科学大)

- LS9-1 アトピー性皮膚炎は心身症だと思っているのにどうして心理療法を使わないの
清水 良輔
皮膚科しみずクリニック 兵庫県神戸市
- LS9-2 モイゼルト軟膏を用いたアトピー性皮膚炎の新たな治療戦略を考える
茂木 精一郎
群馬大

共催：大塚製薬株式会社

13:20~14:20 一般演題 14 「腫瘍病理 1」

座長：鋤塚 大(長崎大)
山村 健太郎(香川大)

- 99 皮下型の隆起性皮膚線維肉腫の 1 例
小濱 望、安村 涼
豊見城中央病院

- 100 疼痛を生じ、切除後に消失した若年女性の踵部エクリン血管腫性過誤腫
須長 幸嗣、須山 孝雪、横山 恵美、松木 康譲、片桐 一元
獨協医大埼玉医療センター
- 101 ヘモフィルスインフルエンザ菌 b 型 (Hib) ワクチン接種部に生じた房状血管腫
早川 道太郎^{1,2}、馬場 裕子¹
¹東京歯科大市川総合病院、²皮フ科早川クリニック 東京都中央区
- 102 皮下に播種した医原性寄生筋腫の 1 例
檜原 亮¹、持田 耕介¹、後藤 裕磨²
¹宮崎大、²宮崎大産婦人科
- 103 臨床的に悪性黒色腫を疑った脂漏性角化症の 1 例
新井 優希¹、梅本 尚可¹、出光 俊朗²、前川 武雄¹
¹自治医大さいたま医療センター、²上尾中央総合病院
- 104 全身に白斑病変が多発した原発巣不明の悪性黒色腫の 1 例
篠原 苑子¹、チェ ヨンス¹、平田 央¹、後藤 寛之¹、後藤 啓介²、鶴田 大輔¹
¹大阪公立大、²大阪国際がんセンター病理・細胞診断科
- 105 Multiple miliary osteoma of the skin の 1 例
赤阪 有里、宮下 梓、大塚 沙希、梶原 一亨、福島 聡
熊本大
- 106 成人の腹部皮膚に発生した多形型横紋筋肉腫の 1 例
井上 愉理靖¹、中村 宗一郎¹、中島 有香¹、福永 淳¹、馬場 一郎²、森脇 真一¹
¹大阪医科薬科大、²大阪医科薬科大整形外科

14:20~15:20 一般演題 15 「腫瘍病理 2」

座長：米倉 健太郎(今村総合病院)
佐々木 奈津子(産業医大)

- 107 殿部に皮膚転移をきたした脊索腫の 1 例
奥村 健悟、黒神 祐、坂本 理佳、文 省太、大江 秀一
大阪国際がんセンター
- 108 Hypopigmented mycosis fungoides の 2 例
矢萩 陽子、山田 有瑛、藤村 卓、浅野 善英
東北大
- 109 CD30 低発現セザリ症候群に対してブレンツキシマブベドチンが奏効した 1 例
小林 研太、山田 いづみ、西本 周平
川崎市立川崎病院
- 110 重症熱性血小板減少症候群と鑑別を要した血球貪食症候群を合併した皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫
上野 彩夏¹、金子 栄¹、鈴木 貴之²
¹益田赤十字病院、²益田赤十字病院内科

- 111 Nodal marginal zone lymphoma の経過中に皮膚浸潤をみとめた 1 例
倉片 彬臣、濱田 利久、卜部 紘衣、内田 百佳、中島 範久、林 隆晶、赤塚 太郎、
本田 遼馬、柴宮 明日香、富田 裕彦、潮見 隆之、菅谷 誠
国際医療福祉大
- 112 原発性皮膚びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫下肢型の 4 例
横溝 紗佑里¹、山口 春佳¹、加藤 あずさ¹、高須賀 琴巳¹、光井 聖子¹、横山 恵美¹、
村山 晃三^{1,2}、新谷 大悟²、平井 陽至³
¹岡山赤十字病院、²岡山赤十字病院血液内科、³岡山大
- 113 皮膚病変部・リンパ節の形質細胞から IL-6 産生を確認した特発性多中心性 Castleman 病
中原 由紀子^{1,2}、南川 文香^{1,2}、山本 剛伸^{1,2}、青山 裕美²
¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大
- 114-Chair's Insight 免疫染色と遺伝子変異からも紐解く脂腺系腫瘍と汗腺系腫瘍の病理学的鑑別の実際
佐々木 奈津子
産業医大

▶ F 会場（岡山コンベンションセンター 3F 302 会議室）

【現地開催】

8:00~8:50 モーニングセミナー 5 「蕁麻疹治療の最前線—治療満足度向上を目指す—」

座長：日野 亮介(日野皮フ科医院)
高萩 俊輔(JA 広島総合病院)

- MS5-1 開業医が取り組む蕁麻疹診療
原田 晋
はらだ皮膚科クリニック 兵庫県西宮市

- MS5-2 蕁麻疹診療の現在地——病型診断、評価指標、そして最新治療へ
矢上 晶子
藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

9:00~10:00 一般演題 16 「基礎研究・臨床研究 1」

座長：柳 輝希(琉球大)
酒井 貴史(大分大)

- 115 加齢および性差が健常人血清サイトカイン・ケモカイン値に及ぼす影響
三輪 祐¹、清水 由梨香²、伊藤 達男²、猪又 直子¹、井上 永介³、末木 博彦¹
¹昭和医大、²川崎医大衛生学、³昭和医大統括研究推進センター
- 116 小胞体ストレス応答はメラニン産生時にチロシナーゼのタンパクレベルとメラニン生合成を制御する
山崎 あかり¹、田中 暁生²、今泉 和則^{3,4}、齋藤 敦⁵
¹県立二葉の里病院、²広島大、³大阪難病研究財団、⁴大阪大大学院連合小児発達学研究科、⁵金沢大医薬保健研究域医学系先鋭科学融合研究分野

- 117 全身性強皮症における循環 T 細胞の代謝
井上 栄美¹、吉岡 華子¹、渡邊 玲²、藤本 学¹
¹大阪大、²順天堂大
- 118 皮膚科診療所から他医療機関への紹介を要する症例パターンの解析
上尾 大輔¹、酒井 貴史²、落合 恵理香³、瀬々 潤³、波多野 豊²
¹上尾皮膚科 大分県佐伯市、²大分大、³ヒューマノーム研究所
- 119 皮膚科診断における AI モデルの精度評価および皮膚科専門医との比較
山村 優人、藤井 一恭、中嶋 千紗、大塚 篤司
近畿大
- 120 アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ治療の予後を判別する説明可能 AI モデルの開発
石川 哲朗^{1,2,3,4,5}、芦崎 晃一^{1,2}、野村 有子¹
¹野村皮膚科医院 神奈川県横浜市、²理化学研究所生命医科学研究センター予測医学特別プロジェクト、³東京大大学院総合文化研究科「共創研究」社会連携講座、⁴理化学研究所数理創造研究センター数理展開部門、⁵慶應義塾大石井・石橋記念講座（拡張知能医学）
- 121 レミブルチニブによる慢性特発性蕁麻疹治療で患者血球数への臨床的影響は見られなかった（REMIX-1/2 試験の安全性併合解析）
秀 道広¹、Giselle Mosnaim²、Hugh Windom²、Gao Xinghua²、Martin Metz²、Sarbjit Saini²、福永 淳²、Alis Burciu³、Songqiao Huang³、Karine Lheritier³、Hichem Zouater³、Sibylle Haemmerle³、Ana Giménez-Arnau²
¹広島市立病院機構、²治験関連施設、³Novartis
- 122 急性汎発性発疹性膿疱症に関与する炎症性サイトカインと血漿交換の効果発現機序
福泉 翔華¹、角 総一郎¹、小林 周平¹、佐藤 篤子¹、神谷 浩二¹、大槻 マミ太郎¹、小宮根 真弓¹、外山 雄一²
¹自治医大、²済生会宇都宮病院

10:00~11:00 一般演題 17 「基礎研究・臨床研究 2」

座長：川上 佳夫(岡山大)
仁木 真理子(徳島大)

- 123 肥満合併乾癬マウスモデルにおける運動効果の検討
松田 吉弘^{1,2}、竹崎 大輝^{1,2}、坂本 祐真²、馬場 伸育²、井関 将典²、向井 知之²、森実 真¹
¹岡山大、²川崎医大免疫学
- 124 乾癬に対するデュクラバシチニブ治療の responder の予測因子の検討
高橋 洋平¹、萩野 哲平¹、佐伯 秀久²、藤本 栄大³、神田 奈緒子¹
¹日本医大千葉北総病院、²日本医大、³ふじもと皮膚科クリニック 千葉県船橋市
- 125 膿疱性乾癬患者におけるスペソリマブの効果予測についての単施設後ろ向き研究
池川 法子、佐々木 奈津子、澤田 雄宇
産業医大
- 126 乾癬患者の bimekizumab 治療における口腔カンジダ症発症の予測因子
米山 愛実¹、萩野 哲平¹、佐伯 秀久²、神田 奈緒子¹、藤本 栄大³
¹日本医大千葉北総病院、²日本医大病院、³ふじもと皮膚科クリニック 千葉県船橋市

- 127 西日本乾癬レジストリ 5 年間の集計報告
鶴田 紀子^{1,2}、今福 信一^{1,2}
¹福岡大、²西日本炎症性皮膚疾患研究会
- 128 抗ヘルペスウイルス薬の 5 日間投与から Patient Initiated Therapy への変更による再発頻度の影響の検討
菅井 順一¹、竹下 朋芳²
¹菅井皮膚科パークサイドクリニック 栃木県宇都宮市、²マルホ株式会社メディカルアフェアーズ部
- 129 TARI 自験例より；宿主の強い炎症反応は、タカサゴキラマダニの吸血を阻害・死に至らせる
沼原 利彦¹、沼原 紀予¹、矢野 泰弘²
¹ぬまはら皮ふ科 香川県三豊市、²元福井大・医・医動物学
- 130 当院における巻き爪マイスターとアセチルシステインゲルを併用した巻き爪矯正治療に関する検討
外山 雄一¹、角 総一郎²、佐藤 篤子²、神谷 浩二²、小宮根 真弓²
¹済生会宇都宮病院、²自治医大

11:10~12:10 教育講演 11 「皮膚科医療の未来に疑問を感じて考える」

座長：秀 道広(広島市立病院機構)
岩崎 泰政(岩崎皮ふ科・形成外科)

- EL11-1 皮膚科領域を守る診療
大日 輝記
香川大
- EL11-2 皮膚科領域を守る専門医制度
室田 浩之
長崎大

12:20~13:10 ランチョンセミナー 10 「日常診療で遭遇する発汗障害の治療戦略を考える」

座長：福島 聡(熊本大)

- LS10-1 クリニックで考える手汗治療
武岡 伸太郎
武岡皮膚科クリニック 香川県丸亀市
- LS10-2 無汗症の診断と治療
下村 裕
山口大

共催：久光製薬株式会社

13:20～14:20 日本皮膚科学会専門医指導医講習会

座長：今福 信一(福岡大)
山口 由衣(横浜市立大)

指導医 1 専門医制度の大きな変更点と専門医・指導医の傾向について
今福 信一
福岡大

指導医 2 専門医受験と更新の注意点 2025
山口 由衣
横浜市立大

10月19日(日)
プログラム

▶ **G** 会場 (岡山コンベンションセンター 4F 407 会議室) —————

[現地開催]

8:00～8:50 モーニングセミナー 6 「発売一年から考える乾癬診療におけるウステキヌマブ BS の活用」

座長：川上 佳夫(岡山大)
古賀 浩嗣(久留米大)

MS6-1 ウステキヌマブ BS が切り開く新たな乾癬の治療選択肢
岡 大五
岡皮膚科医院 岡山県倉敷市

MS6-2 乾癬診療におけるバイオシミラーの使いどころを考える
米倉 健太郎
今村総合病院

共催：富士製薬工業株式会社

▶ ハンズオン 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

【現地開催】

13:20～15:20 スポンサーハンズオンセミナー 2 「皮膚外用剤の基剤の重要性と効果的な外用指導を学ぼう」

座長：片岡 葉子(大阪はびきの医療センター)

※本セミナーは看護師・薬剤師の方を対象としています。事前申込制となります。

SHS2-1 ご存じですか？皮膚外用剤の製剤特性
～臨床で用いられる保湿剤とステロイド軟膏との混合処方の観点から～
山本 佳久
帝京平成大学薬学部

SHS2-2 アトピー性皮膚炎患者さんへの外用指導について
～継続してもらうためにはどうするか？～
関田 恵
大阪はびきの医療センター看護部

チューター 別所 史健（大阪はびきの医療センター）
藤田 壮（川崎医大）

共催：マルホ株式会社